

平成31年度全国学力・学習状況調査結果概要

令和元年9月 御前崎市教育委員会

「学習」に関する調査結果

全国平均正答率と比較して
 ◎+4ポイント以上
 ○-1ポイント以上+4ポイント未満
 △-2ポイント以上-1ポイント未満

御前崎市の平均正答率 全国平均正答率との比較

小学校		中学校		
国語	算数	国語	数学	英語
◎	○	○	△	○

本年度、本市の小学校6年生の結果は、全国平均より全て高い結果となりました。中学校3年生は、全国平均とほぼ同じ結果となりました。

今回、課題となった問題を紹介します。保護者のみなさんもぜひ、解いてみて下さい。答えは、リーフレット裏面下側に掲載してあります。

※今年度から、A問題(主に「知識」に関する問題)とB問題(主に「活用」に関する問題)の区分がなくなりました。英語は「書くこと」「聞くこと」「読むこと」の領域の平均正答率で比較しています。

小学校 国語科

課題となる問題 【問題の趣旨】漢字を文の中で正しく使う。

<p>問題② 平成三十年 地元の野菜や果物などを使った新しいおかしをせつ極的に開発している。</p> <p>前文の「せつ」と同じ漢字を選んで書く</p> <p>1 三角形の面せきを求める。 2 大会でよい成せきを残す。 3 せき任の重い仕事をする。</p>	<p>問題① 平成三十一年度 そこで、地域の人三十人を調査のたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。</p>
---	---

平成30年度同様に、漢字の問題の正答率が低い結果となりました。「たいしょう」と読む漢字はたくさんあります。いくつ思い浮かびますか？その中で、一字一字の漢字や熟語の意味を理解して、表現したい意味の漢字を正しく選択して書く力が問われています。これからの授業では、どのような文脈で使用する漢字なのかを考えながら書く場面を大切に、力を付けていきます。

問題① 全国平均 41.9% 市平均 36.3%

課題となる問題 【問題の趣旨】文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。

<p>問題③ 平成三十一年度 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、【報告する文章】の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には、「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで、」に続く五文字を書きましよう。なお、読点(、)も字数に含まれます。</p> <p>報告する文章 公衆電話を必要とするときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。</p> <p>□□□□□。そこで、□□□□□</p>	<p>問題④ リبونを0.6m買ったときの代金が180円でした。このリボン1m分の代金は、いくらですか。</p> <p>1m分の代金は180÷0.6の式で求めることができます。ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。1800÷6は、何m分の代金を求めている式といえますか。</p>
---	--

お子さんは普段から、相手に伝わりやすい言葉を選んで文を書いたり、話したりしていますか。一文が長すぎる文を書いたり、話したりしていませんか。接続語を使うことで一文が短くなり、相手に伝わりやすことができます。授業では、相手に「伝えたい」という子どもの思いを引き出す問題を提示し、相手を意識しながら書いたり話したりすることができる力を高めていきます。

問題③ 全国平均 47.8% 市平均 50.0%



小学校 算数科

課題となる問題 【問題の趣旨】示された除法の式の意味を理解している。全国平均 47.0% 市平均 42.7%

<p>問題④ リبونを0.6m買ったときの代金が180円でした。このリボン1m分の代金は、いくらですか。</p> <p>1m分の代金は180÷0.6の式で求めることができます。ゆいなさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。1800÷6は、何m分の代金を求めている式といえますか。</p>	<p>180円</p> <p>└───┬───┘</p> <p>0.6m</p>	<p>180 ÷ 0.6 = □</p> <p>↓ ×10 ↓ ×10</p> <p>1800 ÷ 6 = 300</p> <p>変わらない</p> <p>だから、180 ÷ 0.6の答えの□は、300です。</p>
--	--	--

平成30年度同様、「計算の意味を正しく理解して計算を活用する力」を調査する問題の正答率が低かったです。算数は与えられた問題を解き、正しい答えを出すことだけがよいではありません。「なぜこういう答えになるのだろう？」(疑問をもち、自分なりの問題を明確にしようとする姿)「前に習った方法を使ってみよう」(筋道を立てて考えようとする姿)「そもそもわり算って、何を求めるときに使う計算なのかな？」(今まで学んだことの共通点を見つけようとする姿)。このような主体的に学ぼうとする姿も大事にして、子どもたちの算数の力をさらに伸ばしていきます。

「生活」に関する調査結果

肯定的に答えた割合が全国平均に比べ高かった項目(良好)と、大きく低かった項目(課題)を紹介します。

良好

- 「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」中学校
- 「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」中学校
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」小・中学校

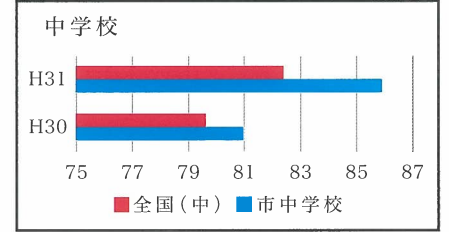
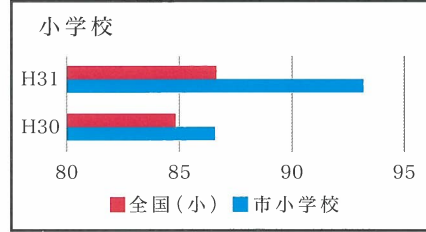
課題

- 「授業以外で学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く」小・中学校
- 「新聞をほぼ毎日、または週1～3回以上読んでいる」小学校

良好 朝食を毎日食べている。

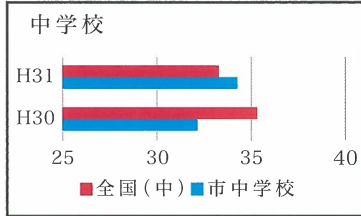
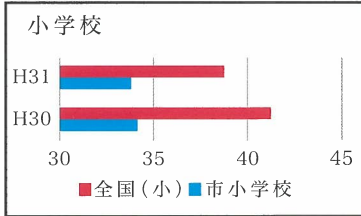
昨年度と比較すると、今年度の「朝食を毎日食べている」と答えた割合が高いことが分かります。また、全国平均と比較しても、かなり高い数値となりました。

昨年度から園や学校を通して、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進に関する活動を行ってきました。各家庭で意識してくださったおかげで、このような結果となりました。御協力ありがとうございました。引き続き、子どもたちが自分の可能性を最大限発揮できるように、朝ごはんの大切さを訴えていきます。

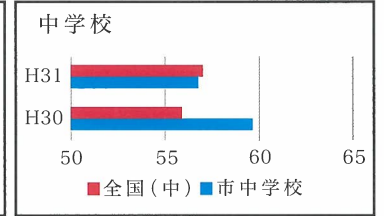
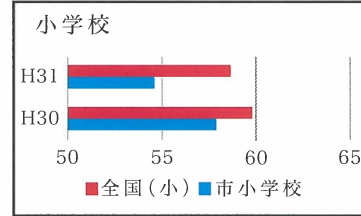


課題 毎日同じ時刻に寝ている・毎日同じ時刻に起きている。

同じ時刻に寝ている



同じ時刻に起きている



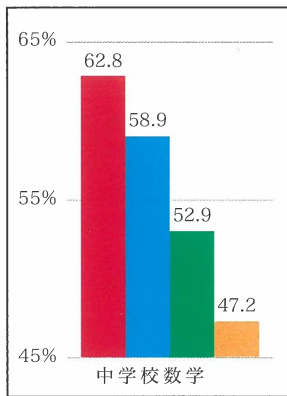
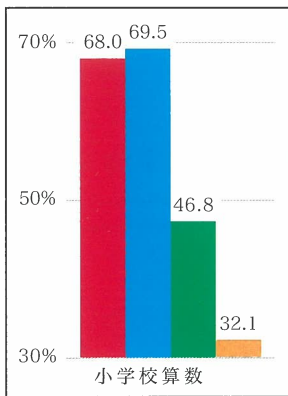
結果から「毎日同じ時刻に寝ている」「毎日同じ時刻に起きている」と答えた小学生の割合が、全国平均に比べて低いことが分かります。原因の一つとしては、スマホやゲーム等のネット利用が考えられます。昨年度末に採ったアンケート結果では、平日の夜9時以降にインターネット等を利用する児童の割合は小学生全体の約20%、また、平日3時間以上スマホやゲーム等のネットを利用する児童は、約17%でした。

今年度のスクラムスクール運営協議会の重点は、「ネット依存・ゲーム障害」から子どもを守る対策です。ネットのよさはもちろんありますが、子どもたちが負の部分についても理解することで、ネットのよりよい活用ができるようになってほしいです。

「学習」と「生活」に関する調査結果クロス集計



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」への回答と正答率の関係(左)
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」への回答と正答率の関係(右)



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」「寝ていますか」の質問に対し、肯定的に答えている子どもの方が、算数・数学の平均正答率が高い傾向がありました。

このことから、規則正しい生活習慣が、子どもの力を最大限に発揮することができる要因となっていると考えられます。

御前崎市では、園・学校全体で「早寝・早起き・朝ごはん」をどの御家庭も意識して取り組むよう、児童・生徒そして園から中学校の保護者のみなさんに、引き続き呼びかけていきます。

■ している ■ どちらかといえば、している
■ あまりしていない ■ 全くしていない

ネット依存・ゲーム障害から子どもを守る取組み

青少年の未来をつむぐつどい
日時：11月17日(日) 午前10時から
場所：御前崎市民会館

演題：(仮)身近なメディアが脳におよぼす危険性
今、問われるコミュニケーションの重要性
講演：今井昌彦氏 浜松学院大学短期大学部 教授

参加
無料